

2020.11.26

「児童の姿で語る」 対象者限定研修会

特別活動 当日資料



公開授業 : 14:30~15:15 5年3組教室

説明・研修会 : 15:30~16:30 体育館

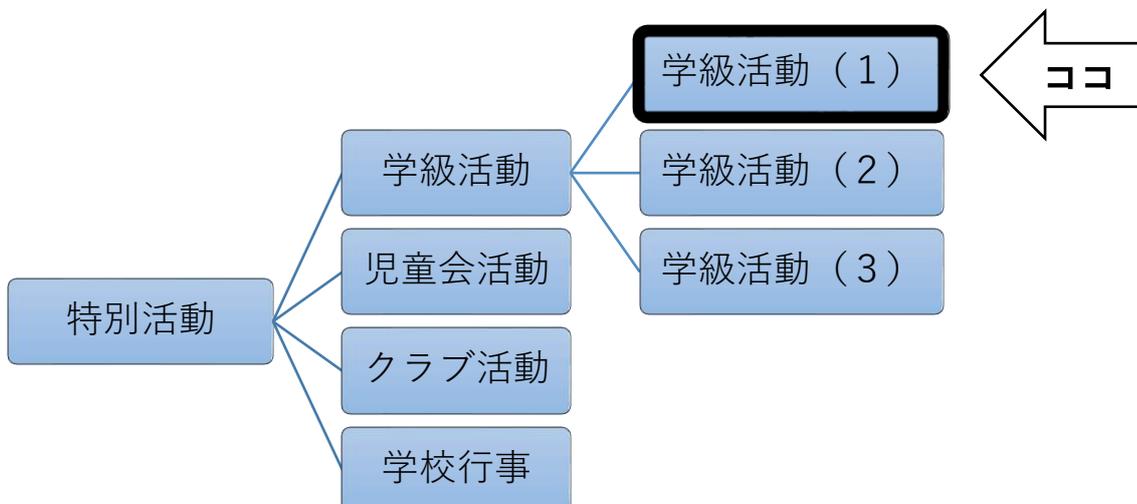


佐賀大学教育学部附属小学校

矢川 亮太

新学習指導要領 特別活動編から読み解く「学級会」

新学習指導要領における「学級会」の位置付け



学級活動（１）の内容は？

学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

【学習指導要領解説 特別活動編より】

この内容は、児童が学級や学校における生活の充実と向上を図るために、そこで生じる人間関係や生活上の様々な問題について、協力して自主的・実践的に解決していこうとする活動である。学級や学校での生活をよりよくするための課題を児童が見だし、「学級会」等で話し合い、合意形成を図り実践し、振り返ることまでが主な内容となる。

「学級会」とは？

【学習指導要領解説 特別活動編より】

学級活動（１）では、学級や学校における生活をよりよくするための課題について、児童が主体となって具体的に解決の方法を話し合い、決めたことについて協力して実践していく活動が中心になる。（中略）なお、学級や学校の生活の充実と向上に関する諸問題について学級全体で話し合う場を一般的に「学級会」、そこで取り上げる一連の内容を「議題」と称する。

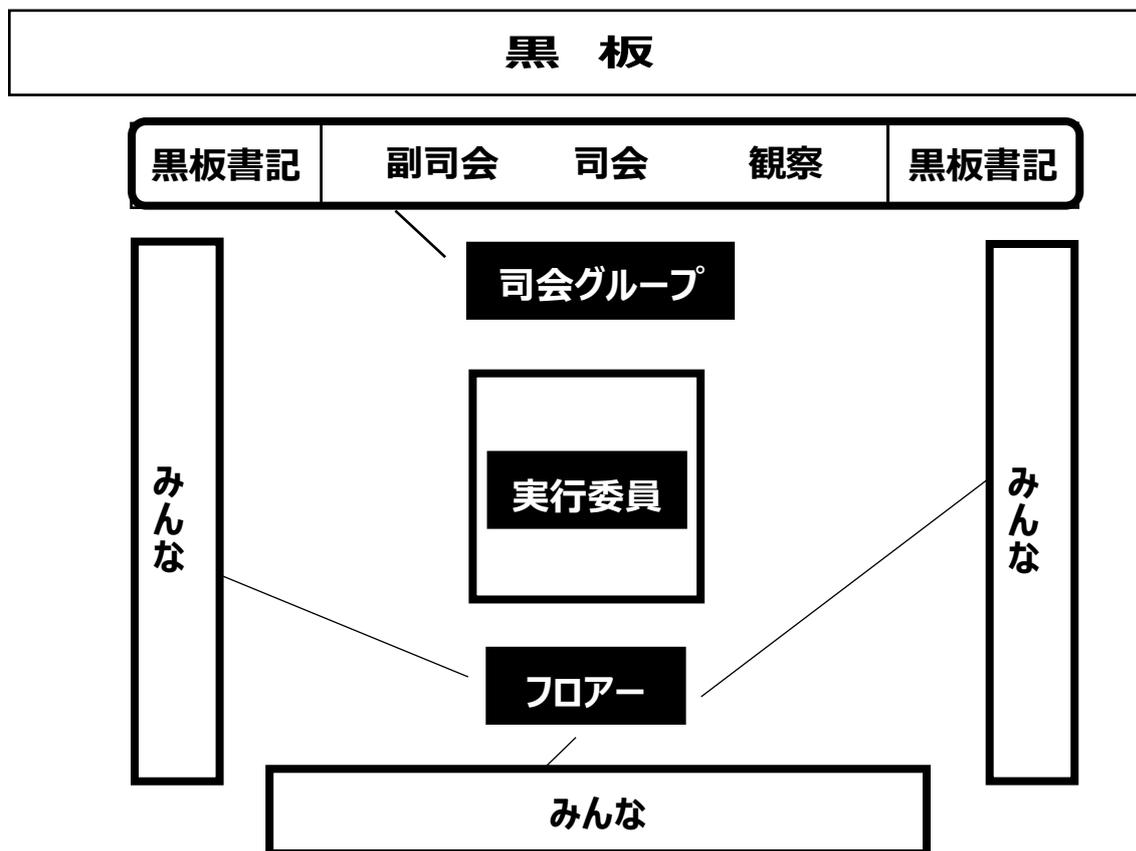
学級活動（1）で育成する資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

発達段階に即した指導の重点

低学年	話し合いの約束に沿って友達の意見をよく聞いたり、自分の意見を言えるようにしたりして、合意形成して決めたことをみんなで実践することのよさを実感できるように指導する。話し合いで決まったことをすぐに実践することで、合意形成の意義を実感することができる。例えば、1単位時間の中で、前半の時間で話し合い、後半の時間で決めたことを実践することも有効である。
中学年	学級会において提案理由を踏まえ、自分もよくみんなもよいものとなるよう合意形成を図り、決まったことをみんなで協力し実践できるように指導する。さらに、自分の考えと異なる意見に決まっても、気持ちよく協力することの大切さについて実践を通して理解できるように指導する。
高学年	出された意見を基にして、組み合わせたり、よいところを取り入れて新たな考えを生み出したりするなど、創意工夫を生かして合意形成を図ることができるように指導する。一連の活動を振り返り、次の活動に生かしていくことを意識した取組にする。

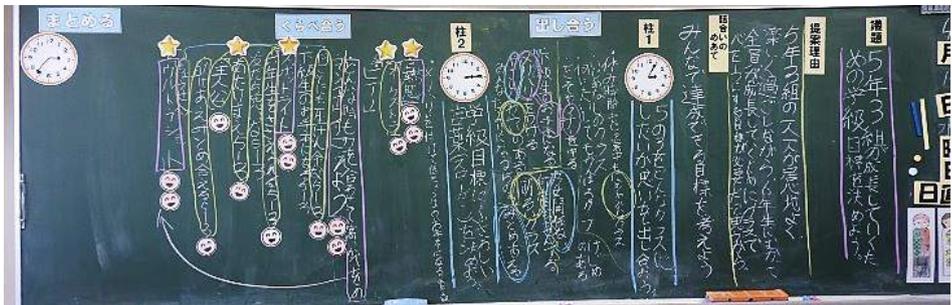
本時の話し合い活動における学習形態



「5の3パワーアッププロジェクト」これまでの軌跡

第1回 始まり編 「5年3組が成長していくための学級目標を決めよう」

5年3組初めての学級会。司会グループは立候補者で行った。柱1は「5の3をどんなクラスにしたいか、思いを出し合おう」。こんな学級にしたいという思いをとにかく出し合った。柱2は「学級目標にふさわしい言葉（スローガン）を決めよう」。柱1で出た思いをもとに、どんな言葉を入れたいか考え、意見を集約しながら5つの言葉にしぼったところで時間に。そして、その翌週から臨時休校。波乱万丈のスタートとなったが、休校明けに改めて話し合い、5つの言葉の意味を生かしながら組み合わせることで、学級目標が完成した。



第2回 お祝い編① 「4・5月生まれの誕生日会をしよう」

5年3組初めてのイベント。議題ポストに入っていたもので、みんなで共有したところ「やりたい!」ということで、これから先の全員の誕生日会も行うことを条件に決定。この会から、司会グループは輪番制で行った。内容は「なんでもバスケット」、「おばけやしき」、「プレゼント渡し」に決定。「おばけやしき」に一抹の不安を抱えつつも、パーティーは無事終了。まだ新しいクラスでの人間関係を探っている段階の子供たちだったが、イベントを通して学級みんなで活動する楽しさに触れることができた。実践の後、振り返りを行った。イベントを楽しみだけで終わらず、イベントを通して、自分と学級を成長させていくということを意識付けた。



- みんなで楽しむことができた。
- 協力して準備した。
- 誕生日の人を想って活動した。
- △ 見通しが甘く、準備も活動も時間に余裕がなかった。

第3回 給食編 「給食時間のルールを決めよう」

学級での生活に慣れ始めた6月。給食時間の中で、時間内に片付けが終わらない、残飯が多いという状況が多く見られるようになった。子供たちに、「5年3組がよりよくなるために解決したいことはあるか」と問うと、給食時間をどうにかしたいという声がたくさんあがり、議題として学級全体で話し合うことに。柱1で現状の問題点を出し合い、柱2では学級全体で守るルールを決めた。限られた人しか当てはまらない細かいものや「～しない」のように否定的なルールなど、意見が拡散したため、みんなで取り組めるもの、「～する」といった行動目標となるよう視点を示し、合意形成に向かうよう助言した。時間内で整理しきれず、改めて整理することに。具体的な行動目標3つを決めて実践へと向かった。



第4回 夏休み編 「サマーフェスティバル2020を盛り上げよう」

夏休み前の一大イベントということで、いつもより気合の入っている様子の子供たち。学級会では、それぞれがやりたいことを主張したり、問題点ばかりを指摘したりするなど、少しずつ課題も浮き彫りに。それでも「ケガしている人も楽しめるように～」など、いろんな立場の人のことを考えた意見も出て、価値付けながら合意形成に向かった。今回の目玉は、一人一人が好きなことやりたいことをお店形式で楽しむ「夏祭り」。自分の好きなことで学級の友達を楽しませたり、友達の意外な一面に気付いたりしたことを価値付けた。一方であまり人が集まっていないお店があることに気付いた子も。意識が学級全体へと広がり始めている。



- みんなで楽しむためにルールを守った。
- 自分のよさを学級のために生かした。
- 友達のよさを見つけることができた。
- △ 特定の友達ばかりではなく、全体に目を向けることも必要。

第5回 サプライズ編 「教生先生おわかれパーティーをしよう」

夏休みが終わって教育実習が始まった9月。子供たちは教生先生が大好きだ。もうすぐお別れなので盛大に送り出したいとの提案があった。教生先生には内緒でサプライズにしたいとのことで、準備時間が限られた中でのイベントとなった。学級会は、やはり意見がぶつかり合いながらも、なんとか合意形成。イベントにも慣れてきたようで、決まったことに対して手際よく準備が進められた。実践では、教生先生と一緒に思う存分遊べたこと、喜んでもらったことでパーティーは大成功。子供たちは達成感を味わいつつも、振り返りでは、学級会の進め方についての課題が出た。もう少しスムーズに決めたい。課題意識が芽生えだした。



- 短い時間でもしっかり準備ができた。
- みんなで協力して楽しめた。
- 教生先生が喜んでくれた。
- △ もっとスムーズに話合いやパーティーを進行したい。

第6回 お祝い編② 「7・8・9月生まれの誕生日会をしよう」

10月。5年生以外は秋の遠足に出かけ、学校を5年生が独り占めという日に行われた誕生日会第2弾。前回の反省から、スムーズに合意形成に向かうために、実行委員を中心に決めていくのはどうかと担任から提案した。意見のまとめ方に課題意識をもっていた子供たちは快諾。希望者を募って実行委員を結成した。学級会では、実行委員を中央に配置し、フロアーの意見を実行委員で吟味しながら話し合いを進めた。司会グループは進行役に徹し、フロアーの意見を実行委員が取りまとめて決定。子供たちは話し合いがスムーズに進んだことに手応えを感じていた。しかし、実践してみるとうまくいかないこともあった。話し合いの時にもっとよく考えておけば…と反省していた。



- 実行委員が中心になって進めたからスムーズにできた。
- 協力しながら楽しく遊べた。
- △ ルールに少し無理があった。→話し合いの時によく考えて、たくさん意見を出しながらよりよいものに決める。

第7回 ハロウィン編 「ハロウィンパーティーをしよう」

いつの間にか日本に浸透しているハロウィンパーティー。もちろん子供たちは大好きだ。今回は、季節のパーティー係が提案者として実行委員を務めることになった。前回の反省から、「何をするか」より「どうやってやるか」が大事だと気付いた子供たち。事前に何をしたいかを書いてもらい、実行委員がある程度集計して柱1で提示することで、柱2「どうやってやるか」に時間をかけて話し合うことができるようにした。実践の中では、楽しむばかりでなく、片付けなどを全員で協力して行っている姿が見られた。実行委員任せでなく、みんなで創るという意識が高まっている。振り返りでは、実行委員を務めた子供から「問題点を言うのはいいけど、じゃあどうすればいいかも言ってほしい」という意見が出た。代案を示しながら、みんなでよりよくしていくことの大切さを共有した。



- 決まったことに従い、みんなで楽しむために協力していた。
- みんなが自分にできることをがんばり学級のために行動していた。
- △ 準備時間をもっと十分にとる。
- △ 話し合いで代案を出すようにする。

「5の3パワーアッププロジェクト」これからの展望

お祝い編③「10・11・12月生まれの誕生日会」

挑戦編「なわとび大会優勝に向けて」

お祝い編④「1・2・3月生まれの誕生日会」

旅立ち編「ありがとう5年3組」

6年生への進級を見据えた学級の成長や学校全体に目を向けた取り組みに挑戦させたい。

本時に至るまでの題材の流れ

11月16日(月) 6時間目 第1時

○議題の決定

議題提案カード	
提案者 名前(第)	
<input type="checkbox"/> みんなで楽しいことやっちゃお系 <input type="checkbox"/> 困ったことを解決!クラスのレベルアップ系 <input type="checkbox"/> 学校のためにがんばっちゃおう系 <input type="checkbox"/> その他 みんなで話し合いたいな系	
議題	
提案理由	
この提案については、	
1 学級会で話し合います。	
2 ()係をお願いします	
3 朝の会・帰りの会で話し合います。	
4 先生をお願いします。	
5 その他()	



いつでも・だれでも
議題を提案できる環境

ポストに何も入ってなかった!

そんな時は

子供の思いと教師のねらいから
議題を提案してみる。
今回で言うと・・・

【子供の思い】
ハロウィンパーティー
楽しかったな。
次はどんなイベント
しようかな。やっ
ぱりクリスマスパ
ーティーかな。

【教師のねらい】
全体でイベントをする
ことに慣れてきたが、
マンネリ化してきた。
少し大がかりなイベ
ントを仕掛けて創意工
夫させたい。

年越しイベントとかどう?

楽しそう!やってみよう!



議題決定!

○議題に対するイメージを共有する

年越しといえば?



紅白!

カウントダウン!

お笑い!

もちつき!

学級でどんなことが
できるかな?

11月17日(火) 昼休み

実行委員結成! (やったことがない人を優先的に4~6名)

○5W1Hをつくる → 学級会ノートに記入する

- Why「なぜその活動を行うのか」・・・提案理由
- When「いつ行うのか」, Where「どこで行うのか」・・・決まっていること
- What「何を」(内容)
- How「どのように」(工夫, 方法, ルール)
- Who「だれが」(役割分担)

話し合いたいこと

学級会ノート	月	日	名
議題	11	17	名
議題	カウントダウン	フスタ	クワク
提案理由	<p>たぐいでの行事やパーティーをいろいろして、その後に改選をきき やめて成長してきまして今年もコロナウイルスが流行して大変 だったけれど不安を乗り越えたいので、今年も行事をいろいろ したいです。2021年にも、クリスマスもいろいろ したいので、コロナに負けないような明るく華やかなク ラスにしたいです。</p>		
決まっ ている こと	<p>11月17日(火) 6時間目 オープンクセムニール(6) 6時間目(ク ラス) 決まっていること(たぐいでの行事やパーティーは、1時間目(ク ラス) 決まっていること)</p>		
柱1	<p>何をやるのか 自分の意見(理由もはっきり書こう)</p>		
柱2	<p>盛大なパーティーにするために 自分の意見(理由もはっきり書こう)</p>		

11月18日(水) 朝の時間・昼休み 課外①

○実行委員から全体へ(朝の時間)

提案理由・決まっていること・話し合いたいこと(柱)を説明

○フロア側の児童は

学級会ノートに自分の考えを書く



実践後の振り返り

5の3パワーアッププロジェクト～夏休み編～の実践から

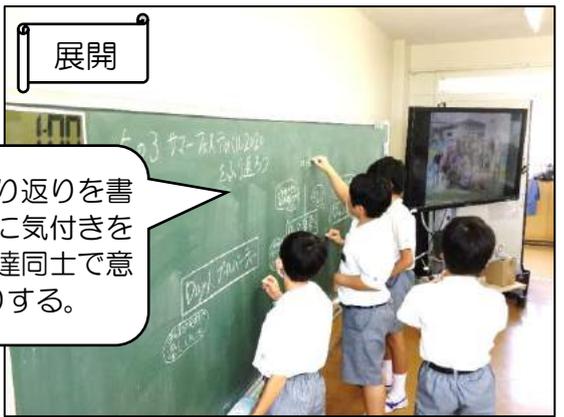
導入

スライドショーで写真を見ながら実践の様子を思い出す。



展開

ワークシートに振り返りを書いた子から、黒板に気づきを書きに来たり、友達同士で意見を交流したりする。



5-3学級活動 名前()

「5の3サマーフェスティバル2020」をふりかえろう

☆様々な視点で活動をふり返そう

(自分自身について)

サマフェスを終えて思うこと
楽しむことができてよかった。
しっかりと、いろいろな立場から考えた
(自分たち、お家さん、他校)

(担当した係・お店について)

自分のお店・係

ピンゴ

よかったこと あせらず準備ができた。 みんなを協力でたんとすを助けて、スムーズに準備ができた。	反省点・困ったこと 準備中考えていたことを、本番でいそがしく、できないものがあった。
---	---

(学級全体について)

よかったこと 楽しくえがおでできた。 男女どちらも楽しむようにしていた。 秋な装い飾らえるようにした。	反省点・困ったこと こうしたらもっとよくなる 特にない。
--	------------------------------------

☆ふりかえりをして思ったことを書きましよう

○学級のたからについて思ったことを書いている。
◎これらの学級や自分のことについて書いている。

なぜかほかのたからがたかいいにみえあわい、楽しめたことが分かりました。これから、課題をかいつながり、おたかえりをはかせることも大事にしたいです。

(自分自身について)

- 実践の中で、どんな気持ちだったか。
- 終わってみて、どんな気持ちか。
- 成長したと思うところ。身に付いたと思う力。

(担当した係について)

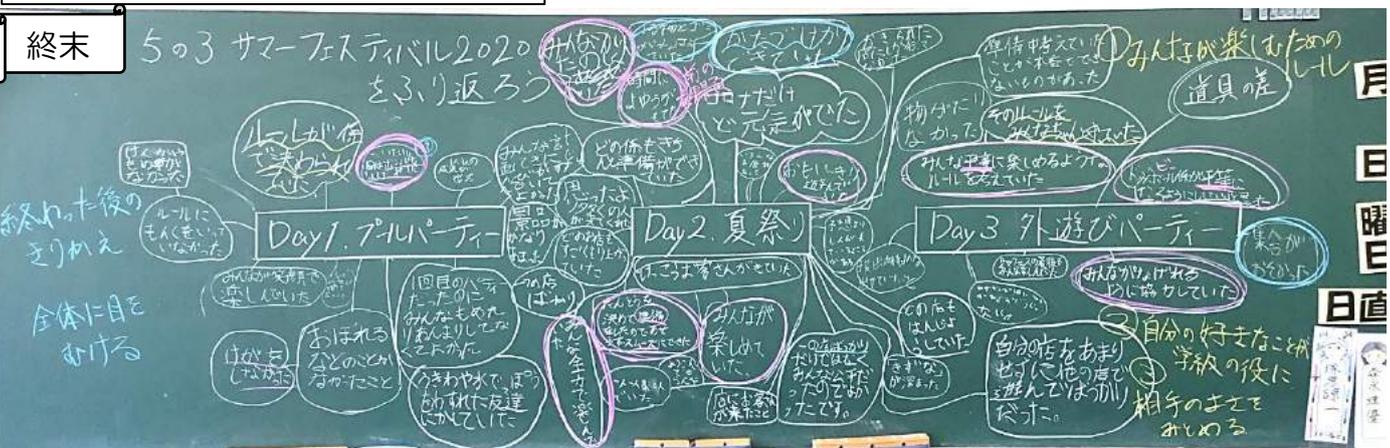
- 友達と協力して活動する中でよかったこと、成長したと思うところ。
- 反省点や困ったこと

(学級全体について)

- 実践全体を通して学級としてよかったこと、成長したと思うところ。
- 反省点や困ったこと
- 次はこうしたらもっとよくなると思うところ。

終末

5の3 サマーフェスティバル2020 をふり返ろう



【最終的に出来上がった板書↑】

今回は3日間に分けて実践を行ったので、それぞれの内容ごとに気づきを書かせ、全体で共有していった。「みんなが楽しくできてよかった」という意見が多く出る中、「なぜ楽しかったのか」と問い返し、「友達にお店に来てもらえたから」「友達のお店がすごかったから」「自分のお店を楽しいと言ってもらえたから」など、友達とのかかわりの中に楽しさを見いだしていたことを価値付けていった。また、実践の中での困ったことやもっとこうしたらよかったという点も全体で共有して、次の実践の課題として方向付けていった。